

防災カメラを設置している場所の浸水状況をLINEでお知らせ

近年、防災カメラを導入される自治体様が増えています。セルラー通信式浸水検知センサ(KAMEKER3)を防災カメラで映している場所に設置することで、浸水被害発生時にいち早く防災カメラを確認でき、迅速な初動対応に繋げることが出来ます。

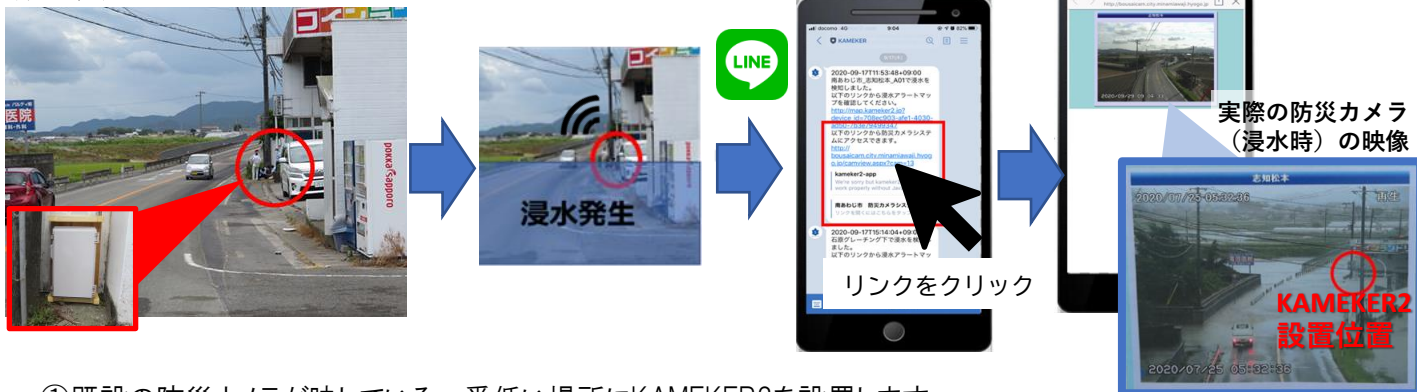
課題・背景

防災カメラの設置数が一定数を超えると、防災カメラ画像の確認が困難になるケースがあります。例えば、1カメラ1画面で確認する場合は、何度もカメラ画像を開いたり閉じたりしなければならず、1ディスプレイに複数のカメラ画像が表示される場合は、カメラ画像が小さくなり見えにくくなってしまいます。そのような状態では、有事の際に個別のカメラを監視し続ける時間が無いという問題や、小さな画像で浸水していることを見落としてしまうという問題が発生します。

KAMEKER3を使用した課題解決策

低価格なKAMEKER3を、既設の防災カメラに通知機能を付加する目的で設置することで、有事の際に浸水情報がLINE通知され、いち早くカメラ画像を確認できます。

(使用例)



- ① 既設の防災カメラが映している一番低い場所にKAMEKER3を設置します。
- ② KAMEKER3を設置した場所が浸水すると、予めLINE公式アカウントに友達登録し、当該センサからの通知をONに設定されたスマートフォンに対し、浸水情報をLINEで通知します。
- ③ LINE通知を受けた人は、防災カメラを設置した場所が浸水していることをいち早く知り、防災カメラ画像を開き状況を確認することで、迅速な初動対応が可能になります。※LINEの通知メッセージは自由に編集できるため、防災カメラの公開URLを添付することも出来ます。